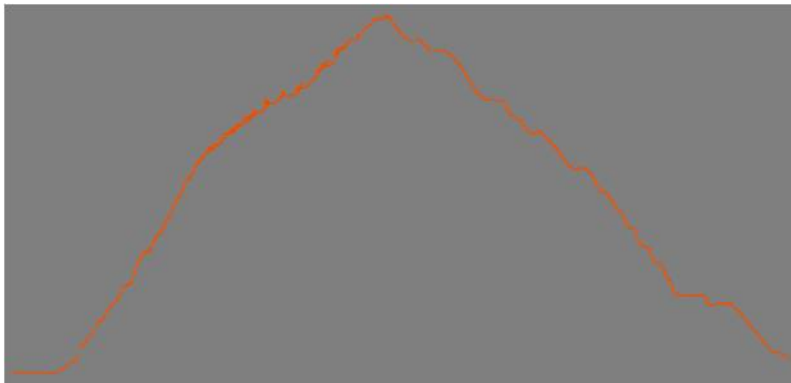
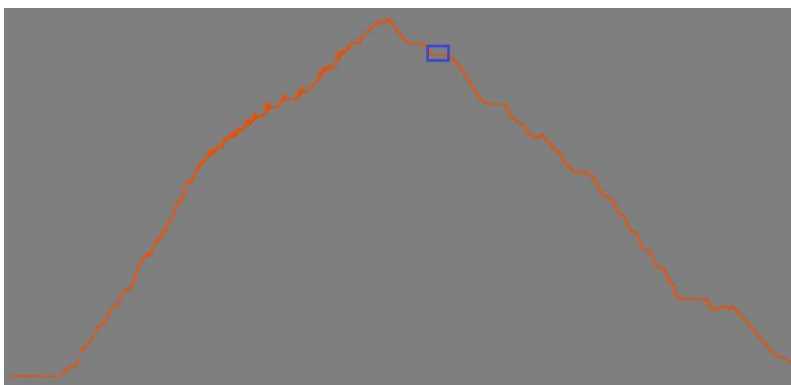


採石場・生データの画像（データは OPT Cloud Survey ソフトウェアで表示する）

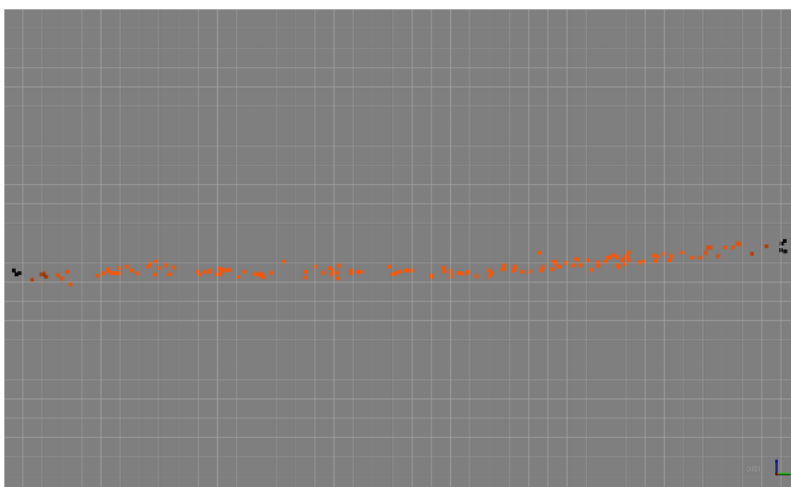
断面全体



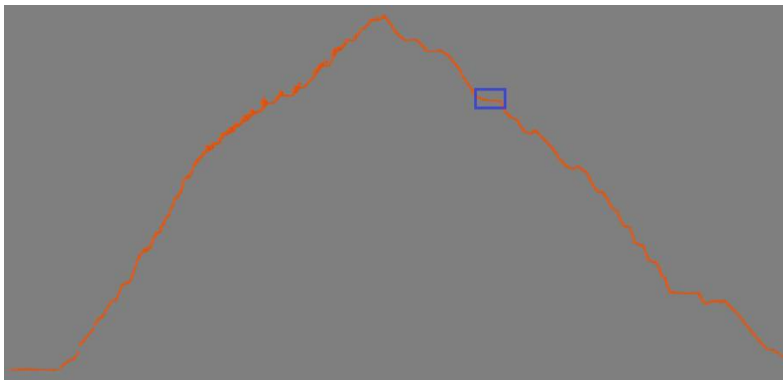
青枠部分 舗装道路を拡大 1



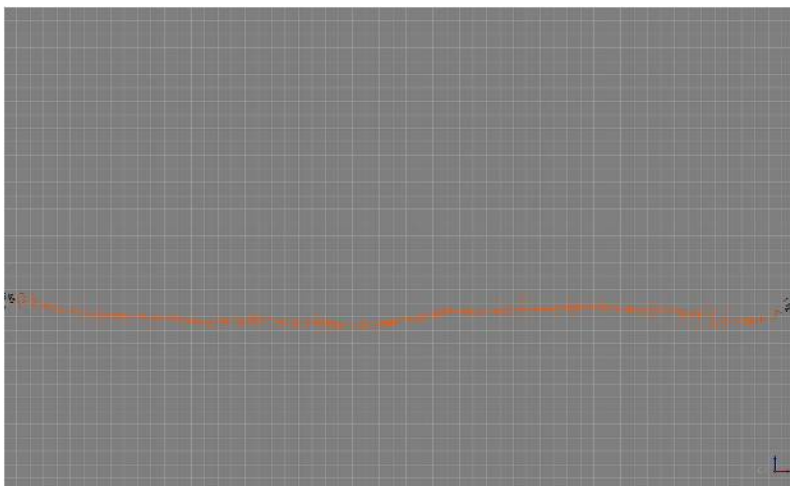
UAV搭載型レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案) P.42 に記載
標高の均一度(標高値の不確かさ)、一般に言われている「地層の厚み」は、
道路部断面 拡大 1コマ 3cm



青枠部分 舗装道路を拡大 2



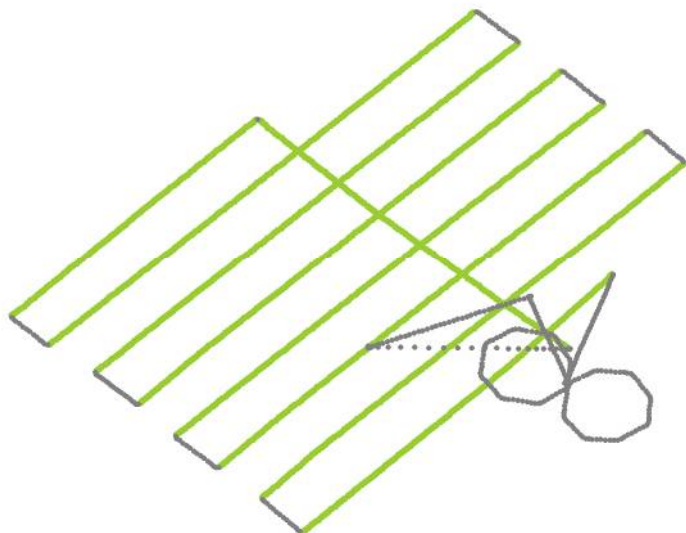
UAV搭載型レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案) P.42 に記載
標高の均一度(標高値の不確かさ)、一般に言われている「地層の厚み」は、
道路部断面 拡大 1コマ 10cm



解析ソフトでの処理後は、標高の均一度(標高値の不確かさ)、
一般に言われている「地層の厚み」は、舗装道路で約 3cm~10cm です。
なお、解析ソフトウェアを使用し、解析時間は約 2 時間でした。
(使用した PC の主な仕様:64GB メモリー、GeForce RTX 3060)

上記でご覧いただいたとおり、AA450 ドローンレーザーで取得した生データは
地層の厚みが少なく、また、ばらつきの少ないデータであり、そのまま未処理の
状態で次の作業(メッシュ作成、断面作成など)へ進むことができます。
なお、「地層の厚み」が大きい場合は、OPT Cloud Survey ソフトウェアを使い、
自動で thinning 処理を行ないます。

フライト軌跡



計測面積

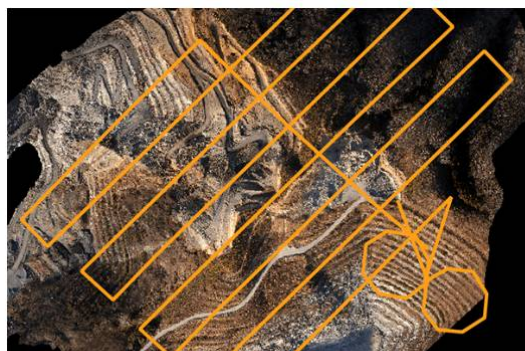
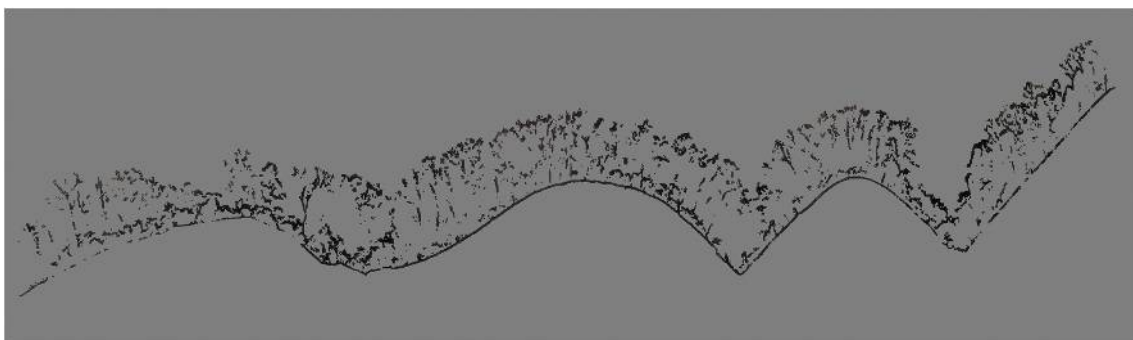
上部狭い部分の面積 $251\text{m} \times 295\text{m} = 74,045 \text{m}^2$

下部広い部分の面積 $356\text{m} \times 417\text{m} = 148,452 \text{m}^2$

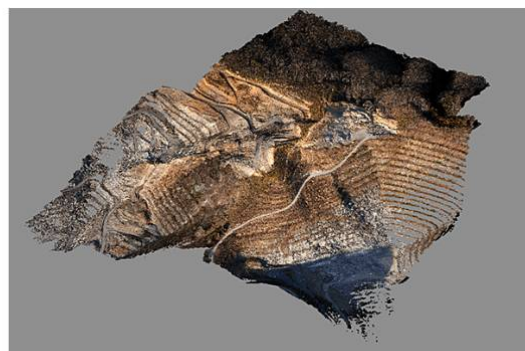
合計 $222,497\text{m}^2$

点数 $156,023,014$ 点

樹木下のデータ



フライトプラン(Metashapeオルソ画像を使用)



カラー点群